

# 2027 国際園芸博覧会推進委員会のウェブサイトを開設しました ～「2027 YOKOHAMA」PR 動画配信！～

- 国際園芸博覧会に関するイベント情報や2027国際園芸博覧会推進委員会（推進委員会）の活動などの情報発信を行うウェブサイトを開設しました。
- 横浜市公式YouTubeチャンネルにて、「2027 YOKOHAMA」PR動画を掲載しました。

※「国際園芸博覧会」については【参考1】、推進委員会については【参考2】参照

## ◆推進委員会のウェブサイトについて

国際園芸博覧会の広報PR・機運醸成のための、ウェブサイトを開設しました。ウェブサイトは、推進委員会の動きや国際園芸博覧会に関連するイベント情報、推進ロゴマークPR協力者の紹介（【参考3】参照）など、様々な情報発信を行っていきます。

### 1 公開日

令和3年3月15日（月）

### 2 サイトURL

<https://expo2027yokohama.jp/>

### 3 掲載内容

- ・新着情報
- ・国際園芸博覧会について
- ・推進委員会について
- ・「2027国際園芸博覧会ニュース」

ウェブサイトの内容は順次更新を予定しています。

### 4 「2027国際園芸博覧会ニュース」について（別紙参照）

「2027国際園芸博覧会ニュース」は、国際園芸博覧会に関する最近のトピックをお伝えする季刊誌です。推進委員会ウェブサイトの新着情報よりご覧ください。



ウェブサイトトップページ



国際園芸博覧会ニュース

## ◆「2027 YOKOHAMA」PR 動画の配信について

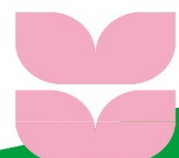
「2027 YOKOHAMA」は、主に若年層に対して国際園芸博覧会の横浜開催を知ってもらうためのPR動画です。

約60秒間の動画には、世界の自然・未来を开花させていく象徴として国際園芸博覧会が2027年に横浜で開催されることへの期待感が込められています。ぜひご覧ください。

【公開先URL】 <https://youtu.be/nRVT7CpWpAI>



PR 動画



## 【参考1】国際園芸博覧会について

### ◆横浜における国際園芸博覧会の概要

開催場所：横浜市 旭区・瀬谷区 旧上瀬谷通信施設

開催期間：2027年3月～2027年9月

会場規模：80～100haを想定

メインテーマ：幸せを創る明日の風景

Scenery of The Future for Happiness

開催意義：Society5.0の推進、グリーンインフラの実装、花き園芸文化の振興等を通じた農業・農村の活性化、観光立国や地方創生の推進を通じ、SDGsの実現による日本モデルの提示を目指します。



### ◆旧上瀬谷通信施設の概要

- ・旧上瀬谷通信施設は、2015年6月に返還された米軍施設の跡地です(面積は約242ha)。
- ・東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接しており、広域で交通利便性が高い地区です。
- ・地区内は横浜市内でも有数のまとまった農地があり、周辺には市民の森があるなど豊かな緑が広がっています。

## 【参考2】2027国際園芸博覧会推進委員会について

行政機関、経済界、各種団体等の協力により、2027年の横浜における国際園芸博覧会の開催組織(博覧会協会(仮称))の設立準備等を行うとともに、全国的な機運醸成等を図ることを目的とする組織です。

## 【参考3】2027国際園芸博覧会のPR協力者募集!

2027年に横浜で開催する「国際園芸博覧会」を、「推進ロゴマーク」を活用して一緒に盛り上げていただく協力者を募集します。PRしていただいた内容は、ウェブサイトや印刷物等広報媒体でご紹介します。

ぜひ2027年の国際園芸博覧会のPRにご協力をお願いします。

詳しくは横浜市のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/logopr.html>

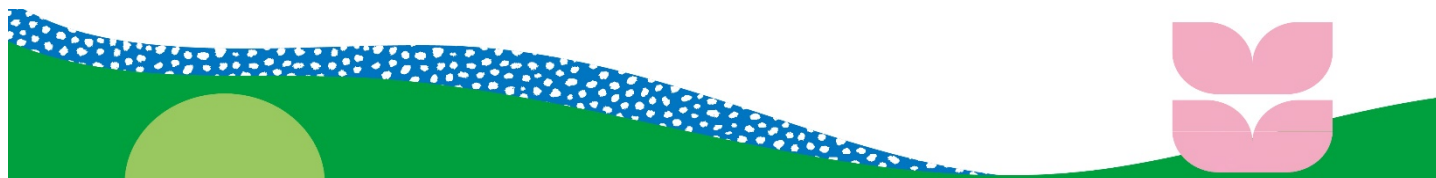


推進ロゴマーク

お問合せ先

横浜市都市整備局国際園芸博覧会推進課 (2027国際園芸博覧会推進委員会 事務局 課長)

担当課長 後藤 勝 Tel 045-225-8928



# 2027国際園芸博覧会ニュース

2027年横浜で開催される国際園芸博覧会に関する最新トピックをお知らせいたします。

## 2027年3月～9月 横浜で国際園芸博覧会が開催されます。

### 1 国際園芸博覧会とは？

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催されています。A1（最高クラス）の国際園芸博覧会は、国際園芸家協会（AIPH）の承認及び博覧会国際事務局（BIE）の認定を受けて開催される国際的な博覧会です。日本では1990年に「国際花と緑の博覧会（花の万博）」が、アジアで初めてのA1の国際園芸博覧会として大阪で開催されました。横浜市も同じA1の国際園芸博覧会を開催します。



花の万博（1990年大阪）の様子  
資料提供：公財）国際花と緑の博覧会記念協会

テーマは、「幸せを創る明日の風景」。旧上瀬谷通信施設(※)において、花と緑をシンボルに、生命感と未来の種にあふれた国際園芸博覧会が開催されることで、基地跡地のまちづくりが進み、次世代に向けた持続的な環境創出や新たな経済の活性化に貢献します。さらに、世界の子どもたちに感動を与え、横浜から明日に向けた創造的な提案や友好と平和のメッセージの発信にもつながります。

(※)旧上瀬谷通信施設は横浜市の北西部（旭区・瀬谷区）にある面積約242haの平坦な土地です。長年米軍に提供していましたが、2015年6月に返還されました。農業振興と都市的土地利用による新しいまちづくりを進めており、郊外部の活性化拠点として大きなポテンシャルを有しています。



### 2 全国的な推進組織設立

令和2年11月6日、博覧会協会（仮称）の設立準備や全国的な機運醸成等を目的とした「2027国際園芸博覧会推進委員会」（会長：中西 宏明 日本経済団体連合会 会長）の設立総会・記念式典を開催しました。

設立総会では、委員会の設立、令和2年度の事業計画等が承認されました。また、記念式典では、国際園芸博覧会をPRするための「推進ロゴマーク」を会長代行の林文字子 横浜市長から発表しました。



### 2027国際園芸博覧会ニュースについて

2027国際園芸博覧会ニュースは、国際園芸博覧会の広報PR・機運醸成のため、2027国際園芸博覧会推進委員会が発行する季刊誌です。

国際園芸博覧会に関するトピックを定期的にお伝えし、2027年の開催に向けて盛り上げていきます。国際園芸博覧会への理解を深めていただければ幸いです。



### 3 広報動画

国際園芸博覧会の開催に向けて、様々な方にその目的や意義をお知らせし、園芸博覧会に関心を持ってもらい、より多くの皆様の積極的な参加につなげていくため、横浜市では広報動画を公開しています。ぜひご覧ください。

●有識者インタビュー動画

「2027横浜 国際園芸博覧会 概要」 (約7分)

「2027横浜 国際園芸博覧会への期待 ～専門家に聞く～」

①東京農業大学 准教授 福岡孝則氏

②株式会社 サカタのタネ 代表取締役社長 坂田宏氏

(各約14分)

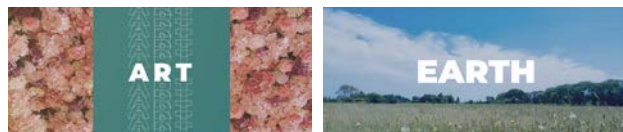
●「2027 YOKOHAMA」PR動画 (60秒)

以下のURLよりご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/koho.html>



有識者インタビュー動画



PR動画

### 4 みんなで咲かせよう手形アート

博覧会会場の地元小学生たちが手形アートで2027国際園芸博覧会をPRするため、作品を制作しています。屋外展示を行い、地元の理解や期待感、機運醸成につなげていきます。



手形アート制作の様子

### 5 2027国際園芸博覧会推進委員会ウェブサイト開設

3月15日から推進委員会ウェブサイトを開発しています。2027国際園芸博覧会の情報発信に努めていきます。

以下のURLよりご覧いただけます。

URL：<https://expo2027yokohama.jp/>



ウェブサイト トップページ

### ◆ 関連トピックス

(1) 推進ロゴマーク

花卉は、博覧会で生まれる多様な交流と、そこから「幸せな明日」を創造していく生命力を、葉は自然との共生を象徴し、茎は開催地 横浜の“Y”を表しています。



(2) 水素燃料電池自動車

2027国際園芸博覧会をPRする水素燃料電池自動車が市内を走っています。



(3) 推進ロゴマーク ピンバッジ



このように国際園芸博覧会に向け、着実に準備を進めています。

2027年に世界中から多くの方々が横浜にお越しになるのを楽しみにしています。



# 国際園芸家協会（AIPH）博覧会委員会で 進捗報告を行いました

横浜市では、2027年の国際園芸博覧会の開催に向けた取組を進めています。令和元年9月に国際園芸家協会（AIPH）より開催承認を受けたのち、半年に一度AIPH博覧会委員会において取組状況の進捗報告を行っています。

3月16日、オンラインで開催されたAIPH博覧会委員会において、横浜市の進捗報告を行いました。

## AIPH 博覧会委員会の概要

開催日時：令和3年3月16日（火） 17:00～22:00（日本時間）

開催方法：オンライン

参加者：国際園芸家協会会員、国際園芸博覧会開催都市関係者等

主な内容：国際園芸博覧会開催都市等が準備の進捗状況等を報告。

A1クラス（最高レベル）の開催都市としては、アルメーレ（オランダ：2022年開催予定）、ドーハ（カタール：2023年開催予定）、横浜市が報告を行いました。

## 横浜市からの報告

前回（9月）からの進捗として、全国的な機運醸成を担う「2027国際園芸博覧会推進委員会」の設立、推進ロゴマークを活用した広報PR活動、基本計画案の検討状況等について報告を行いました。

報告終了後、持続可能な博覧会の実現に向けての取組について質問があり、自然の機能を取り入れたグリーンインフラや再生可能エネルギー等、環境に配慮した取り組みを導入することや、また、来場者・交通網についての質問では、来場者の見込みと周辺交通整備の状況について回答しました。

横浜市の報告資料については、下のURLをご参照ください。



質疑応答の様子

（報告資料）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/top.files/210316presentation.pdf>

（イメージ動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=UMn3sHGtIEY>



### 2027 国際園芸博覧会 ～世界の花、横浜で咲かせよう～

国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催します。

メインテーマ：幸せを創る明日の風景

開催期間：2027年3月～9月

開催場所：旧上瀬谷通信施設（旭区・瀬谷区）

◆国際園芸博覧会の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/>

### お問合せ先

都市整備局国際園芸博覧会推進課 担当課長 後藤 勝 Tel 045-225-8928